

## 国の「健康日本21（第2次）」（素案）で示されている目標項目等について

国の基本的な方針			
基本的な方向性	目標分野と目標設定の考え方		項目
①健康寿命の延伸と健康格差の縮小の実現	健康寿命の延伸 健康格差の縮小	国において実現されるべき最終的な目標	①健康寿命の延伸 ②健康格差の縮小
②生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底（NCDの予防）	がん	国の主要な死亡原因	①75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少（10万人あたり） ②がん検診の受診率の向上
	循環器疾患	国の主要な死亡原因	①脳血管疾患・虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少（10万人当たり） ②高血圧の改善（最高血圧の平均値の低下） ③脂質異常症の減少 ④メタボ予備群・メタボ該当者の減少 ⑤特定健診・特定保健指導の実施率の減少
	糖尿病	患者数が増加、かつ、重大な合併症を引き起こすおそれがある疾患	①合併症（糖尿病性腎症による年間透析導入患者数）の減少 ②治療継続者の割合の増加 ③血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少 ④糖尿病有病者の増加の抑制 ⑤メタボ予備群・メタボ該当者の減少 ⑥特定健診・特定保健指導の実施率の向上
	慢性閉塞性肺疾患（COPD）	死亡原因として急速に増加すると予測されている疾患	①COPDの認知度の向上
③社会生活を営むために必要な機能の維持・向上	こころの健康	身体の健康と共に重要である	①自殺者の減少（人口10万人当たり） ②気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている者の割合の減少 ③メンタルヘルスに関する措置を受けられる職場の割合の増加 ④小児人口10万人当たりの小児科医・児童精神科医師の割合の増加
	次世代の健康	将来を担う次世代の健康を支えるため、妊婦や子どもの健康増進が重要	①健康な生活習慣（栄養・食生活、運動）を有する子どもの割合の増加 ②適正体重の子どもの増加
	高齢者の健康	高齢者に伴う機能の低下を遅らせるために高齢者の健康に焦点	①要介護状態の高齢者の割合の減少 ②認知機能低下ハイリスク高齢者の把握率の向上 ③ロコモティブシンドローム（運動器症候群）を認知している国民の割合の増加 ④低栄養傾向の高齢者の割合の減少 ⑤足腰に痛みのある高齢者の割合の減少（人口千人当たり） ⑥就業又は何らかの地域活動をしている高齢者の割合の増加
④健康を支え、守るための社会環境の整備	地域の絆による社会づくり	健康を支え守るための社会環境の整備には、国民、企業、民間団体等が自発的に健康づくりに取り組む	①地域のつながりの強化（居住地域でお互いに助け合っていると思う国民の割合の増加） ②健康づくりを目的とした活動に主体的に関っている国民の割合の増加 ③健康づくりに関する活動に取り組み、自発的に情報発信を行う企業数の増加 ④健康づくりに関して身近で気軽に専門的な支援・相談を受けられる民間団体の活動拠点の増加
⑤栄養・食生活、身体活動・運動、休養、喫煙、飲酒及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善	栄養・食生活	生活習慣病の予防のほか、社会生活機能の維持及び向上並びに生活の質の向上の観点から重要	①適正体重を維持している人の増加（肥満、やせの減少） ②適切な量と質の食事を取る人の増加 ③共食の増加（食事を一人で食べる子どもの割合の減少） ④食品中の食塩や脂肪の低減に取り組む食品企業の数及び飲食店の数の増加 ⑤利用者に応じた食事の計画、調理及び飲食店の数の増加
	身体活動・運動	同上	①日常習慣における歩数の増加 ②運動習慣者の割合の増加 ③住民が運動しやすいまちづくり・環境整備に取り組む自治体数の増加
	休養	生活の質に関する重要な要素、過重労働時間の縮小	①睡眠による休養を十分取れていない者の減少 ②週労働時間60時間以上の雇用者の割合の減少
	喫煙	がん、循環器疾患、糖尿病、COPDといったNCDの予防可能な最大の危険因子	①成人の喫煙率の低下（喫煙をやめたい人がやめる） ②未成年者の喫煙をなくす ③妊娠中の喫煙をなくす ④受動喫煙（家庭・職場・飲食店・行政機関・医療機関）の機会を有する者の割合の低下
	飲酒	有害な飲酒は、生活習慣病を始めとする様々な身体疾患の健康障害のリスク要因	①生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者（1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者）の割合の低減 ②未成年者の飲酒をなくす ③妊娠中の飲酒をなくす ④他者の飲酒が原因で困った経験のない人の割合の増加
	歯・口腔の健康	歯・口腔の健康は摂食と構音を良好に保つために重要であり、生活の質にも大きく寄与する。	①口腔機能の維持・向上（60歳代における咀嚼良好者の増加） ②歯の喪失予防 ③歯周病を有する者の割合の減少 ④乳幼児・学齢期のう蝕のない者の増加 ⑤過去1年間に歯科検診を受診した者の増加